



丹後地域 リハビリ通信

第 15 号

～うさぎのブランコ～

編集／発行

丹後地域リハビリテーション支援センター
(公益財団法人 丹後中央病院リハビリテーション科内)
〒627-8555 京丹後市峰山町杉谷 158-1

TEL 0772-62-8301 FAX 0772-62-8302
e-mail tango-rehabili-shien@tangohp.com
<http://www.tangohp.com/tangoshien.html>

ホームページより PDF 形式でご覧いただく
ことができます

平成25年度事業報告

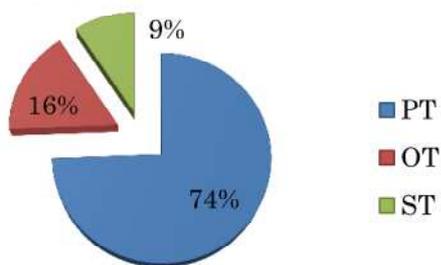
今年度も丹後地域リハビリテーション支援センターの事業に対し
ご理解、ご協力を頂きありがとうございました。



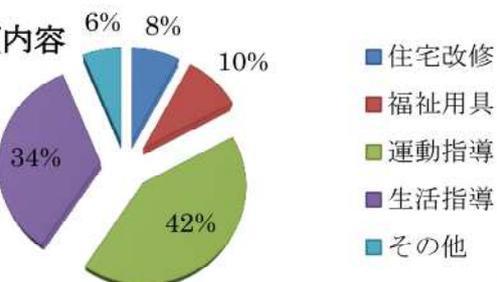
訪問相談事業

相談件数 44 件

職種別依頼割合



依頼内容



地域包括支援センター等 に対する助言・相談

助言・相談件数 49 件

情報提供

広報誌「うさぎのブランコ」の発行
12号(5月)、13号(9月)、14号(1月)、
15号(3月)
ホームページの更新
リーフレットの作成、配布

研修会事業

- 看護職・介護職ステップアップ研修
「劇で学ぶ NG 移乗介助法～明日から
の介護が変わる～」
H25.9.24、H25.10.27 開催
参加者 62 名、46 名
- 実践交流会
お気軽サミット in 丹後 2014
H26.3.7 開催 参加者 86 名

事例検討会

- 「丹後地域における高次脳障害の支援体
制について考えよう」
H25.7.30 開催 参加者 40 名
- 「生活期を支える地域ケアとリハビリテ
ーション～事例検討で考える、介護・
看護・リハ 多職種連携～」
H25.11.10 開催 参加者 45 名
- 「デイサービスのリハビリテーション
～学びと繋がりて利用者を笑顔
に！～」
H25.12.1 開催 参加者 50 名
- 伊根町事例検討会
H25.11.22、H25.12.13 開催
参加者 54 名、45 名

平成 25 年度丹後地域リハビリテーション実践交流会 お気軽サミット in 丹後 2014 開催の報告

今回で 7 回目を迎えた実践交流会「お気軽サミット in 丹後」。
行政、福祉、サロン関係者を中心に 86 名の方に参加いただきました。

実践報告 ～丹後の各地で実践しているリハビリテーションの紹介～

「リハビリ視点からの町づくり

～丹後地域リハビリテーション支援センター、丹後保健所の支援を受けて～

伊根町地域包括支援センター

保健師 梅崎 智実さん



現在の伊根町の高齢化率は日本の 2060 年と同様の姿である。サービス事業所が少なく、リハビリの専門職がないのが現状の中「伊根町のリハビリを考える会」を発足した。町内事業所への研修会やドリカムシートの作成、研究事業としての筋肉プロジェクトを実施した。課題を整理し 26 年度は伊根町主体で部会を運営し、超高齢化社会を強みに変えていきたい。

「胃瘻造設から経口摂取への取り組み」

社会福祉法人あしぎぬ福祉会

特別養護老人ホーム満寿園

介護士 井浪 利和さん



まだ口から食べることができるかもしれないという思いを聞いたことで、取り組みを開始した。介護職、看護職、歯科、歯科衛生士、相談員などがチームとなってリハビリを開始した。当初、無表情だった方に微笑がみられ、口腔ケアに口をあけたり、少量ながらも嚥下が可能となった。自分たちに出来るリハビリ、多職種連携の大切さを感じ、今後も一つ一つ取り組みたい。

「福祉器具普及の現状と実態～個々への取り組みを行って～」

(株)ケアネット

福祉用具専門員 村岡 春輝さん、福祉用具専門員 文堂 雅章さん



さまざまな福祉用具があるが、個々のニーズにあわせて利用して頂く事が大切。大型リフターの設置で車椅子のまま外出出来た事例を紹介。また、住宅改修で手すりや段差解消をし、暮らしの利便性をあげる手立てをつくった。未来の介護として、ゲームの利用やロボットの可能性などについて紹介。

新・高齢者の健口づくり ミニ講座



講師：口腔ケア Support Office nao 歯科衛生士 中西直美氏

中西歯科衛生士が作成された口腔ケアのための資料 4 種類(いきいきお口の体操、歯のお手入れ、食べる前のお口の体操、唾液腺マッサージ)について説明して頂きました。

展示・相談コーナー

(株) ケアネットのご協力の下、最新福祉機器を体感して頂きました。

歯科用品展示&口腔ケア相談

リフター

新型在宅ベッド「楽匠乙」



実演 みんなで実演！健康満丹体操で丹後を元気いっぱい！ ～私の健康づくり(介護予防)が、利用者の笑顔につながる～

講師：今井たま美氏

協力：健康満丹プロデューサーの皆さん

健康満丹体操って？

「丹後地域で元気高齢者を増やしたい！」「高齢者はもちろん、若いときから運動に取り組んでもらいたい！」そのために、丹後保健所が募集した健康満丹プロデューサーが今井先生やセラピストと一緒に検討を重ね、自分たちがやってみたい、楽しい体操をつくりあげてきました。



今井先生の掛け声と「明日があるさ」の音楽にあわせて、参加者全員で健康満丹体操をしました。
楽しくからだを動かし、みんなで運動不足解消！リフレッシュ!!

丹後地域リハビリテーション支援センター
お気軽サミットin丹後2014
リハビリ川柳 入選作品発表

応募総数62句から丹後地域のセラピストで構成するセラピスト連絡会のメンバーに投票頂き入選作品を決定しました。



ふれたくて あともう一歩で 手がとどく
グループホームよさの(従事者) 岩本尚美さん



リハビリは 笑い会話の ハーモニー
生活リハビリ道場(利用者) 小室重子さん
川柳の ネタ元として 夫を見る
転倒予防アドバイザー 大江正子さん



慣れないが 女房に手紙 書いてみる
いわさく診療所訪問リハ(利用者) 千賀寿次さん
嫁孝行 歩き乍 考える
いわさく診療所訪問リハ(利用者) 倉富一彦さん
日に千歩 ふやして健康 100までも
一般 本田祐子さん



入賞作品以外の川柳 はホームページで閲覧することができます。